

三沢市立三沢病院での実習を終えて

弘前大学医学部医学科 5年 成田純弥

私は3月1日から26日までの1か月間、三沢病院で実習をさせていただきました。私にとっての臨床実習のスタートが三沢病院からということもあり、とても緊張しながら初日を迎えました。初日から回診と手術に参加させていただきましたが、回診では何に注目しなければいけないのかということもわからず、手術場では清潔操作への理解が不十分で、手袋を変えなければいけなくなったこともありましたが、しかし、先生方や看護師さんは温かくフォローしていただき、基本的なことから優しくご指導してくださいました。

実習では主に回診や手術見学に参加させていただきました。手術では自分が学習してきた解剖学的知識を実際の臨床の場で対応させることがとても難しかったです。網嚢の構造や尿管の動く様子、切除後の血管の走行など座学では得ることのできない知識をしっかりと勉強できました。また、腹腔鏡のカメラ操作も経験させていただきましたが、カメラ操作を行う手術の度に褒めてくださり、とてもうれしかったです。回診では回診前に患者さんのカルテをしっかりと確認して臨むことの大切さについて学ぶことができました。

この1か月は外科の先生方だけではなく内科や研修医の先生方にもお世話になりました。内科の先生方には内科の回診に参加させていただいたり、ESDの見学もさせていただいたり、内科に関することも学ぶことができました。研修医の先生方にはいろいろな質問や相談に乗っていただいただけではなく、採血や救急の見学、エコーのやり方などを教えていただきました。私にとって2年後の姿である研修医の先生方の仕事を少しではありましたが一緒に体験できたことで、自分の知識不足を痛感し、これからの実習のモチベーションへとつながりました。本当にありがとうございました。

最後になりますが、三沢病院外科の松本先生、池永先生、久保先生、そして研修医の佐々木先生、黒坂先生、石井先生をはじめ、病棟のスタッフの方々、事務の方に感謝申し上げます。私にとって臨床実習をこの三沢病院でスタートできたことを誇りに思い、これからの実習も頑張っていきます。1か月間、本当にありがとうございました。



2021. 3. 1～2021. 3. 26